



## 東日本大震災 災害支援への取り組み

3月11日に発生した東北関東大地震。そして大津波、福島原子力発電所の事故。まずもって、お亡くなりになった多くの方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災されました多くの方々に対しお見舞い申し上げます。

琵琶湖中央病院では患者さんからのご協力もいただき義援金を募り、ささやかですが職員一同の思いとともに日本赤十字社に届けさせていただきました。また、被災地からの入院患者の受け入れ、災害医療チームへの登録を行い、今できる災害支援への取り組みをすすめています。長丁場の道のりと予測されますが、一日も早い復興を願いつつ支援への取り組みを継続させていくつもりです。

## 新しいスタート



4月1日、平成23年度の始まり。当院には看護師、セラピスト（PT, OT, ST）等、31名の新しい職員が入職しました。

東日本大震災後、日々メディアから流れる「心は誰にも見えないけれど、心づかいは見える。思いは誰にも見えないけれど、思いやりは見える」という宮澤章二さんの詩、「行為の意味・・・青春前期のきみたちに」の一節。今、職員一同、新入職者とともに改めて、「心づかい」と「思いやり」のたいせつさを学び、日々の医療の中での実践を誓い合っています。そして当院の医療と看護、リハビリ療法の機能連携を生かし、地域との連携を通じて、在宅医療を支援する病院として、地域のチーム力を育み、地域の人々とともに、健やかな街づくりに向けて力を合わせていく所存です。

## 内科診察室から

### ～ 血液内科のご紹介 ～

血液疾患は、血液中の細胞成分（白血球・赤血球・血小板）や液状成分（凝固因子など）の異常を来たす病気で、各種貧血や悪性リンパ腫・白血病・骨髄異形成症候群などの悪性疾患が含まれ、近年増加傾向にあります。血液疾患には臓器特有の特徴的な症状はなく、発熱・全身倦怠感・食欲不振・体重減少・リンパ節腫脹・出血傾向などの非特異的な全身症状で発見されることが多いです。そのような症状が続けば放置せず、早めの受診が望まれます。当科では、外来にて基本的な診察（身体所見）と一般的な血液検査でまず初期診断を行い、専門的な診療が必要と考えられた場合、専門医療機関に紹介させていただきます。そして慢性期になりましたら、専門医療機関との連携により当院での通院加療が可能です。また、血液疾患に関連する相談にも対応いたします。

副院長・血液内科 杉山 建生

## ホームページが新しくなりました

4月1日、当院のホームページが新しくなりました。従来のものを一新し、より見やすくご活用いただけるようになっています。是非ご覧ください、ご意見いただければ幸いです。

